

請求の範囲

- [請求項1] 製品が消費される環境中で放出されるその製品中に含まれる香気成分の香气的印象に与える影響を評価する方法であって、
- 1) 製品が消費される環境またはそのモデル環境中で、その製品中に含まれる二種以上の香気成分について、所定の時間範囲に放出される香気濃度増加率（測定開始後から所定の時間経過後の香気成分の検出量 a / 検出開始直後の香気成分の検出量 b ））をそれぞれ測定するステップと、
 - 2) ステップ1) で得られた二種以上の香気成分の香気濃度増加率の大小関係を得るステップと、
 - 3) ステップ2) で得られた二種以上の香気成分の香気濃度増加率の大小関係を、その製品の香气的印象に与える影響の大きさの大小関係と相関する指標として、その製品中に含まれる香気成分の香气的印象に与える影響を評価するステップと、
- を含む、前記評価方法。
- [請求項2] 前記製品が消費される環境が、製品が他の物質との相互作用による香気成分の放出特性の変化を伴わずに消費される環境である、請求項1に記載の評価方法。
- [請求項3] 前記製品が消費される環境が、製品が他の物質との相互作用による香気成分の放出特性の変化を伴って消費される環境である、請求項1に記載の評価方法。
- [請求項4] 前記製品が食品であり、前記ステップ1) における香気濃度増加率の測定が、香気拡散環境中で行われる、請求項2に記載の評価方法。
- [請求項5] 前記製品が食品であり、前記他の物質がヒト由来または人工の唾液を含み、前記ステップ1) における香気濃度増加率の測定が、口腔内モデル環境中で行われる、請求項3に記載の評価方法。
- [請求項6] 前記製品が食品であり、前記他の物質が水を含み、前記ステップ1) における香気濃度増加率の測定が、香気拡散環境中で行われる、請

求項3に記載の評価方法。

- [請求項7] 前記製品が香粧品であり、前記ステップ1)における香気濃度増加率の測定が、香気拡散環境中で行われる、請求項1から3のいずれか一項に記載の評価方法。
- [請求項8] 前記製品が香粧品であり、前記他の物質が、水、毛髪、皮膚、浴槽、床、布およびガラスからなる群から選ばれる1種以上を含む、請求項3に記載の評価方法。
- [請求項9] 前記ステップ1)において、ガスクロマトグラフ、質量分析装置または検知器を用いて前記香気濃度増加率を測定することを含む、請求項1から8のいずれか一項に記載の評価方法。
- [請求項10] 香料組成物の調製方法であって、
A) 請求項1から9のいずれか一項に記載の評価方法により製品が消費される環境中で放出されるその製品中に含まれる香気成分の香気的印象に与える影響を評価するステップと、
B) 前記ステップA)で得られた評価に基づいて、その製品中に含まれる香気成分の配合比率を調整して香料組成物を調製するステップとを含む、前記調製方法。
- [請求項11] 前記ステップB)において、その製品の香気的印象に与える影響が大きい香気成分として位置付けられた香気成分の量比を加減することによりその製品に用いられる香料組成物における香気成分の配合比率を調整することを含む、請求項10に記載の香料組成物の調製方法。
- [請求項12] 香料組成物の製品への賦香率を調整する方法であって、
i) 請求項1から9のいずれか一項に記載の評価方法により製品が消費される環境中で放出されるその製品中に含まれる香気成分の香気的印象に与える影響を評価するステップと、
ii) 前記ステップi)で得られた評価に基づいて、その製品中に含まれる香気成分の配合比率を調整して香料組成物を調製することで、香料組成物の製品への賦香率を調整するステップと、

を含む、前記方法。